



# MATSUYA FOODS HOLDINGS

2020年3月期 決算

株式会社松屋フーズホールディングス  
銘柄コード 9887

# 1. 2020年3月期 決算の実績

(単位:百万円)

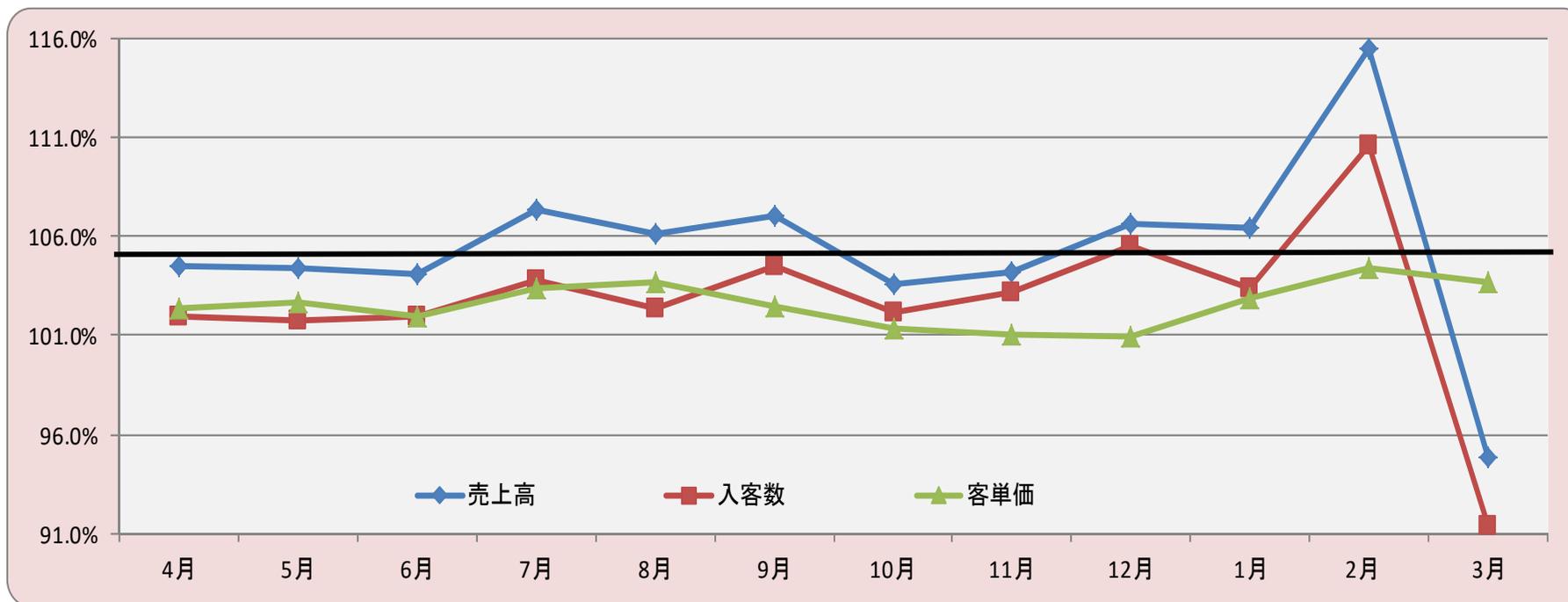
連 結	2019年3月期		2020年3月期				前期比 C-A		修正計画比 C-B	
	実績(A)		修正計画(B)		実績(C)					
売上高	98,158	100.0%	104,100	100.0%	106,511	100.0%	8,352	8.5%	2,411	2.3%
売上原価	32,227	32.8%	34,040	32.7%	35,118	33.0%	2,890	9.0%	1,078	3.2%
売上総利益	65,931	67.2%	70,059	67.3%	71,392	67.0%	5,461	8.3%	1,333	1.9%
販売管理費	62,046	63.2%	64,509	62.0%	66,313	62.2%	4,266	6.9%	1,803	2.8%
(うち人件費)	33,607	34.2%	34,848	33.5%	35,974	33.7%	2,366	7.0%	1,125	3.2%
営業利益	3,884	4.0%	5,550	5.3%	5,079	4.8%	1,194	30.8%	-470	-8.5%
経常利益	4,182	4.3%	5,800	5.6%	5,438	5.1%	1,255	30.0%	-361	-6.2%
当期純利益	2,197	2.2%	3,100	3.0%	2,604	2.4%	406	18.5%	-495	-16.0%

# ◇既存店売上実績

## 前年比105.3%

2020年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
売上高	104.5%	104.4%	104.0%	107.4%	106.1%	107.0%	103.6%	104.2%	106.6%	106.4%	115.5%	94.8%	105.3%
入客数	102.0%	101.7%	102.0%	103.8%	102.4%	104.5%	102.2%	103.1%	105.5%	103.4%	110.6%	91.4%	102.7%
客単価	102.4%	102.7%	102.0%	103.4%	103.6%	102.4%	101.4%	101.0%	101.0%	102.9%	104.4%	103.7%	102.6%



# ◇2020年3月期 新規出店・改装状況

## 新店の状況 (2020年3月末現在)

### (1) 業態別出店状況

業態	屋号	前期末	2019年3月期 実績		3月末現在の店舗数
			出店	退店	
牛めし	松屋	958	20	15	963
とんかつ	松のや 松乃家	188	14	3	199
鮨	すし松 福松	8	3	0	11
その他・海外	トマトの花 マイカリー、松軒他	27	11	4	34
店舗数合計(海外含む)		1,181	48	22	1,207

### (2) 地域別出退店状況

	前期末 店舗数	2019年3月期 実績		3月末 店舗数	地域別 店舗数シェア
		出店	退店		
北海道・東北圏	39(20)	0(0)	0(0)	39(20)	3.2%
北関東・甲信越圏	59(53)	1(0)	1(1)	59(52)	4.9%
首都圏	700(131)	17(2)	14(3)	703(130)	58.2%
東海・北陸圏	93(82)	5(3)	3(2)	95(83)	7.9%
関西圏	213(88)	14(9)	2(1)	225(96)	18.6%
中国・四国・九州圏	65(46)	8(2)	1(0)	72(48)	6.0%
海外	12	3	1	14	1.2%
合計	1,181(420)	48(16)	22(7)	1,207(429)	100.0%

※( )内はロードサイド店舗で内数

○総店舗数 1,207店舗  
牛めし業態 963店舗  
とんかつ業態 199店舗

○出店は、  
「松屋」・「松のや」中心

○改装合計 155店舗  
全面：9店舗  
一部改装：146店舗

○原価率 33.0%

食材価格や労務費の上昇等により、計画比+0.3ポイント(前期比+0.2ポイント)となった。

○販管費比率 62.2%

人件費については、アルバイト・パートの時給上昇による増加要因等もあるが、生産性の向上により、計画比+0.2ポイント(前期比▲1.0ポイント)となった。

○営業利益は、計画比▲470百万円の5,079百万円(前期比+1,194百万円)。

○経常利益は、計画比▲361百万円の5,438百万円(前期比+1,255百万円)。

○当期純利益は、計画比▲495百万円の2,604百万円(前期比+406百万円)。

原価率は上昇したが、売上が好調に推移し、利益面では前年を大幅に上回った。

## ○4月既存店売上高前年比 77.4%

**緊急事態宣言の発令により、外出自粛・施設の使用制限・出勤7割減の要請。**

**当社では、商業施設閉鎖に伴う休業店舗、営業時間短縮店舗、一部時間帯を弁当販売のみとする店舗等、制限付きの運営。**

**弁当需要の高まりはあるものの、首都圏店舗を中心に影響大。**

## ○原材料への影響

**拡大・長期化した場合、米国産牛肉の供給や仕入価格に影響する可能性有。**

## ○今期計画

**新型コロナウイルス感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、適正かつ合理的な業績予想の算出が現時点で見通すことが困難。**

**2021年3月期の業績は未定とし、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で公表いたします。**

「松屋」 5月12日（火）10時スタート



※本プレゼンテーション資料には、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境、為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。また、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず弊社は一切責任を負うものではありません。